



1919-1922 モデルT クーペ 木製フレーム



製造情報

製造商	未知の
組付工場	未知の
モデル生産量	未知の
総生産量	未知の
馬力	
重量	未知の
当時売価	未知の

イノベーション(ポイントのみ)

強度と耐久性の為に使われたミシガンのアッシュの木

木材の床下構造は、金属で作られた
木質副産物が、木炭事業の発展に繋がる

モデルTにはどれくらい木が使われている？

モデルTは、車の板金外板を支える構造において木材を多く使用していました。ホワイトアッシュはその強さと分裂抵抗の強さによって選ばれました。ヘンリー・フォードはミシガン北部の313,447エーカーの土地のホワイトアッシュを大量に購入しました。そして彼は1920年に木材生産工場の建設を開始しました。1925年までに従業員の数は7500人にまで及びました。フォード社の主な伐採エリアはアイアンマウンテンの北西60マイルに位置していました。そして一日の伐採目標は25万ボードフィートでした。1951年までにかけて1トン約610ドルでフォード炭ブリケットとして販売されていました。現在はキングスフォード炭と呼ばれています。

貸与先: Howard Comstock